

## お役立ち情報 002 (スマホがデジカメ並みに進化)

スマートフォン(スマホ)の撮影機能がデジタルカメラに一段と近づきそうだ。ミツミやアルプス電気など電子部品各社はスマホのカメラに使う手ぶれ補正用部品(アクチュエーター)を一斉に増産する。

スマホはカメラの画素数が1600万画素などに上がる一方で、光の感度が下がり暗い所で撮影するとき手ぶれしやすくなった。

新部品を搭載すれば暗い所でも撮影しやすくなるためアップルやサムスン電子などが今後の主力機種に採用するとみられている。

\*\*\*\*\*

スマホの撮影機能が  
デジカメに近づく

	スマホ	コンパクト型 DSC
顔認識	◎	◎
高画素	◎	◎
動画撮影	◎	◎
光学式 手振補正	×→○	◎
光学式 ズーム	×→?	◎

◎:標準搭載

○:一部搭載

×:未対応

スマホは高級機種

### 従来のデジタルカメラ各社の対応

ニコンやソニーなどは低価格で特徴を出しにくいコンパクト型の機種数の削減に着手し、代わりに高倍率のズームレンズを搭載したコンパクト型や、高性能な画像センサーを搭載した機種を投入する。

2013年のコンパクト型デジカメの出荷数は4570万台で、ピークの08年の4割にとどまった。14年も前年比26%減の見通しです。

(注) アクチュエーター

カメラのピントを自動で合わせる機構部品。光学レンズをモーターなどで動かし焦点を合わせる。光学式の手振れ補正に使う場合は、光学レンズを水平方向と垂直方向に動かし、手振れの影響を吸収する。デジカメのほか、ビデオカメラやスマホなどに使われ、世界的に需要が伸びている。